学校番号	315

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「公共」（実教出版）						
副教材等	フォーラム公共　2026（東京法令出版） 公共　演習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察したり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想したりする際の視点や方法を学んでいきます。
・学習内容を自分の人生や現代の社会の在り方と結びつけながら理解を深めていく活動を行います。
・学習内容や課題に対して、自分の考えや意見を導き出し表現する力が必要です。そのため、周りの人と対話をしながら自分の考えを表現し、積極的に発表し、議論に参加してください。
・授業時間内の学習内容だけでなく、自らさらに学びを深めていきましょう。ノートやプリントに自ら学びを進めていったことを整理していきましょう。

2　学習の到達目標

社会的な見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

・現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択･判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論することができる。	よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1部第1章	公共的な空間をつくる私たち―社会のなかの自己 (1)現代社会に生きる青年 (2)社会的な関係のなかで生きる人間	a. 青年期の特徴と自己形成の課題，個人，社会，伝統･文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 b. 青年期の特徴と自己形成の課題，個人，社会，伝統･文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について多面的･多角的に考察している。 c. 青年期の特徴と自己形成の課題，個人，社会，伝統･文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について，自分自身の課題としても捉え，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

	第1部第2章	公共的な空間における人間としての在り方生き方―共に生きるための倫理 1　功利主義と幸福の原理 2　義務論と公正の原理 生命倫理について考える 環境倫理について考える	a. 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 b.　現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して，生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し，判断している。理解したこと，考察したことなどを適切な方法で表現している。 c.　功利主義や義務論などの考え方を活用して，生命倫理・環境倫理に関する現代の諸課題について主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	 ワークシート 振り返りシート
	第1部第3章	公共的な空間における基本的原理－私たちの民主的な社会 ・公共的な空間における協働とは ・民主主義とは ・立憲主義とは ・人権保障の意義と展開	a.　公共的な空間における基本的原理である民主主義，法の支配と立憲主義，人間の尊厳と平等などの意義について理解している。 b.　公共的な空間における基本的原理である民主主義，法の支配と立憲主義，人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について，多面的・多角的に考察し，判断している。 c. 公共的な空間における基本的原理である，民主主義，法の支配と立憲主義，人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	 ワークシート
	第2部第1章	民主政治と私たち 民主政治と政治参加 ・私たちの民主政治 ・地方自治のしくみと役割 ・国会のしくみと役割 ・内閣のしくみと役割	a. 政治と民主主義，地方自治及び国会，内閣のしくみと役割，民主政治の実現の観点から理解している。 b. 政治と民主主義，地方自治及び国会，内閣のしくみと役割，政治のしくみや運用にかかわる課題について，民主政治の実現の観点から多面的・多角的に考察し，判断している。 c. 政治と民主主義，地方自治及び国会，内閣のしくみと役割，政治のしくみや運用にかかわる課題について，民主政治の実現の観点から主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	 ワークシート 振り返りシート

2学期		・政治参加と選挙	a. 政治参加のさまざまな方法,民主政治と選挙制度，日本の選挙制度と課題について理解している。 b. 政治参加のさまざまな方法,民主政治と選挙制度，日本の選挙制度と課題について，多面的・多角的に考察し，判断している。 c. 政治参加のさまざまな方法,民主政治と選挙制度，日本の選挙制度と課題について，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	第2部第2章	法の働きと私たち 法と社会規範の役割 ・法の成立と適用 ・現代の市民生活における私法の役割と意義は何か？	a. 法や規範の意義と役割,法の成立と適用,市民生活における法と契約について，理解している。 b. 法や規範の意義と役割，法の成立と適用,市民生活における法と契約について,多面的・多角的に考察し，判断している。 c. 法や規範の意義と役割，法の成立と適用,市民生活における法と契約について，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
		国民の司法参加 ・司法のしくみと役割 ・刑事司法と司法参加の意義	a. 司法権とその独立，裁判制度のしくみ，違憲審査権，刑事司法のしくみや原則，刑事司法の課題，裁判員制度や検察審査会などについて理解している。 b. 司法権とその独立，裁判制度のしくみ，違憲審査権，刑事司法のしくみや原則，刑事司法の課題，裁判員制度や検察審査会などについて，多面的・多角的に考察し，判断している。 c. 司法権とその独立，裁判制度のしくみ，違憲審査権，刑事司法のしくみや原則，刑事司法の課題，裁判員制度や検察審査会などについて，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第2部第3章	経済社会で生きる私たち 現代の経済と市場	a.経済活動の意義，経済主体と経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，景気変動と物価などについて理解している。 b. 経済活動の意義，経済主体と経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，景気変動と物価などについて，多面的・多角的に考察し，判断している。 c. 経済活動の意義，経済主体と経済循環，市場経済のしくみと政府の役割，国民所得と経済成長，景気変動と物価などについて，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

		市場経済における金融の働き	a. 貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融，金融システム，金融市場と金利の動き，中央銀行の役割と金融政策，金融の自由化などの金融の動向について理解している。 b. 貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融，金融システム，金融市場と金利の動き，中央銀行の役割と金融政策，金融の自由化などの金融の動向について，多面的・多角的に考察し，判断している。 c. 貨幣の役割と通貨制度，直接金融と間接金融，金融システム，金融市場と金利の動き，中央銀行の役割と金融政策，金融の自由化などの金融の動向について，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	 ワークシート
		財政の役割と持続可能な社会保障制度	a. 財政の三つの働き，財政のしくみ，租税の分類と税制の原則，国債と財政問題，社会保障の意義と制度・課題などについて理解している。 b. 財政の三つの働き，財政のしくみ，租税の分類と税制の原則，国債と財政問題，社会保障の意義と制度・課題などについて，多面的・多角的に考察し，判断している。 c. 財政の三つの働き，財政のしくみ，租税の分類と税制の原則，国債と財政問題，社会保障の意義と制度・課題などについて，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	 ワークシート 振り返りシート

3 学 期	第 2 部 第 5 章	国際社会のルールとしくみ ・国際社会の課題を解決するためにどのようなルールが必要か？ グローバル化する国際経済 ・貿易のしくみ ・国際金融のしくみと動向 ・国際経済の諸課題	a. 国際社会の成り立ちと課題，貿易の仕組み，グローバル化する国際経済の現状と課題について，貿易と国際収支，外国為替と国際通貨制度，国際経済秩序とその動き，新興国の動き，南北問題の背景と推移，人口・食料問題などの観点から理解している。 b.　国際社会の成り立ちと課題，貿易の仕組み，グローバル化する国際経済の現状と課題について，貿易と国際収支，外国為替と国際通貨制度，国際経済秩序とその動き，新興国の動き，南北問題の背景と推移，人口・食料問題などの観点から，多面的・多角的に考察し，判断している。 c.　国際社会の成り立ちと課題，貿易の仕組み，グローバル化する国際経済の現状と課題について，貿易と国際収支，外国為替と国際通貨制度，国際経済秩序とその動き，新興国の動き，南北問題の背景と推移，人口・食料問題などの観点から ら，主体的に追究している。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	第 3 部	持続可能な社会づくりに参画するために ・探究のイメージをつかもう ・探究プロセス	a.　課題解決に必要な事項を理解している。また，第１部・第２部で学習した知識と関連付けている。必要な資料を収集・整理し，必要な事項を抽出しまとめている b.　課題解決に向けて必要な資料や情報を収集し，分析したり考察したり判断したりしている。得られた結果や自らの主張を，論拠を明確にして表現している。 c.　探究のための学習計画を踏まえて，探究活動の進行を自ら振り返り調整しながら，解決に向けて主体的に取り組んでいる。	レポート	レポート 発表	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度